

乳房温存術後放射線治療において呼吸性移動が線量分布へ及ぼす影響に関する研究

はじめに

神戸大学医学部附属病院医療技術部では、乳房温存放射線治療を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

● 研究概要および利用目的

乳房温存放射線治療には近年様々な高精度照射技術が用いられています。また照射時には多くの施設で自然に呼吸をしている状態で治療を行なっております。

これまでの活動から、高精度照射技術を用いた場合に呼吸による胸壁の動きによって計画線量と多少の差異が生じることが分かっています。しかしこれはコンピュータによるシミュレーションで導き出されたもので、個々の患者様の呼吸の大きさや早さの違いがどのように影響するのかは明らかになっておりません。そこで様々な呼吸の動きを再現できる機器を用いて、照射実験を行い線量を測定することは非常に有用な情報となると考えます。その際に乳房温存療法における平均的な照射方法を再現するため2017年4月1日～2019年12月31日のあいだに乳房温存放射線治療を受けられた患者さんの照射時のリニアックの角度と照射範囲の大きさのデータをカルテから収集、解析し研究を実施することといたしました。

● 研究期間

この研究は、神戸大学大学院医学研究科 研究科長承認日から2022年3月31日まで行う予定です。

● 研究に用いる試料・情報の種類

照射情報: 照射時のリニアックの角度、放射線を照射した範囲の大きさ、照射方法
患者背景: 年齢、照射部位の左右の別

● 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学病院医療技術部内の鍵のかかる保管庫に保管します。

● 試料・情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学医学部附属病院医療技術部 責任者: 日下 亜起子

● 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。
不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

● 研究終了後のデータの取り扱いについて

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、論文等の発表から10年間は保管さ

れ、その後は患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者さん及び代諾者の方が本研究に関するデータ使用の取り止めに申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

- **研究成果の公表について**

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

- **研究へのデータ使用の取り止めについて**

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。

- **問い合わせ窓口**

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さん及び代諾者のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

神戸大学医学部附属病院 医療技術部 担当者:奥村 圭祐

住所:神戸市中央区楠町7-5-2

電話:078-382-6383

研究責任者:

神戸大学医学部附属病院 医療技術部 日下 亜起子